



ハブに生まれ難手術を受けた猫。手術翌日から餌をよく食べた。地元出身の、長寿で有名な泉重千代さんにちなんで重(しげ)ちゃんと命名された=どうぶつ基金提供

社会・カルチャー 猫ブームの光と陰

猫の不妊手術が守った「クロウサギと世界遺産への道」

駅義則 / ジャーナリスト 2016年12月14日

1719

不妊手術・現場ルポ (3)

全国各地で猫の無料不妊手術を行っている公益財団法人「どうぶつ基金」。活動に協力する動物病院も81に増えた。しかし、活動が知られるほど寄せられる「SOS」も急増し、対処しきれない実情も垣間見える。今回は昨年取材した、鹿児島県・徳之島でのどうぶつ基金の一斉不妊手術の現場を紹介しよう。

徳之島では、猫は、ネズミを退治したり、豚の感染症を媒介する小鳥を食べたりするため畜産農家などで重宝...

続きを読む > ログインして読む >

有料記事 残り 1673文字 (全文 1876文字)

今日はあと5ページまでご覧いただけます
無料会員のご登録で有料記事、プレミアムコンテンツを合わせて月間10ページまで閲覧できます。
有料会員はすべての記事をご覧でき初月無料です。詳しくはこちら >

簡単に驚く効果 生活習慣病も予防できる
10歳若返る歩行術 - インターバル散歩 -
実践しやすい、健康と医療のコラム
医療プレミア
能勢博 / 信州大学教授



駅義則

ジャーナリスト

1965年、山口県生まれ。88年に時事通信社に入社。金融や電機・通信などの業界取材を担当した。2006年、米通信社ブルームバーグ・ニュースに移り、IT関連の記者・エディターなどを務めた後、14年に退社してフリーに。

関連記事

- 宮古島発サンゴ礁の贈り物 ふわふわな「雪塩」
- 南の海で育つ「ぶちぶち食感」沖縄・海ぶどうの輝き
- 石垣の空、海、太陽から生まれた藍と黄色のストライプ
- 関ヶ原の敗戦でお家を救った島津義弘「捨て身の行動」
- 小池都知事でどうなる東京メトロ1兆円株式上場

社会・カルチャー

連載 猫ブームの光と陰
前の回を読む

経済プレミアのトップへ

あなたにオススメ (レコメンドシステムによる記事選択)

Recommended by @outbrain



誰もが思い出すそれぞれの「クリスマス・イブ」



一斉不妊手術で減らせる野良猫と子猫の悲劇



「中古100平方メートルマンション」なぜ795万円?



「まさか不思議な料理」にワクワク感が止まらない



親が認知症になる前に「家族信託」でやっておくこと



平均年収290万円シンママの終わりにき重労働

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも
デジタル版 お申し込み PC、スマホで
読者セット デジタル 毎日

インターネット花ギフト
12月の誕生日花 (赤バラ等) ・くまのマスクワ...
誕生日フラワーギフト・ピンクガーベラのアレ...
12月の誕生日花 (赤バラ等) ・赤バラのバスケ...
12月の誕生日花 (赤バラ等) ・赤バラのハート...
誕生日フラワーギフト・トルコキキョウとデン...

キーワードで探す

アクセスランキング

- 「母の遺産4000万円」でのけ者にされた長男の怒り
- 弱気な母親の財産を勝手に分け合う娘2人の「強欲」
- 土地や現金にかかる相続税を減らす二つの方法
- 「自腹・超勤・休みなし」ここまで来たブラックバイト
- 遺産分割を拒み、争い続けた姉妹の15年戦争

イチ押しコラム

高機能端末でサムスン追撃 中国ファーウェイの躍進
年末商戦と年明け早々に始まる春商戦に向け、中国ファーウェイはSIMフリースマホの「Mate 9 (Mate 9)」を発表した。 Mate 9...

育児サブタイトル

ブラック労働と同じか「孤独なワンオペ育児」
今年9月に記事「高熱でも休めない「ワンオペ」育児ママの過酷な毎日」を書きました。その後、新聞やテレビのニュースもワンオペ育児を取...

メディア万華鏡

「ポピュリズム」は“国民の愚かな判断”を意味するのか
ドナルド・トランプ氏が次期米大統領に決まってから、「ポピュリズム (大衆迎合主義)」って何だろうと考えることが増えた。ポピュリズム...

世界選読

台湾総統と電話会談したトランプ氏の真の狙いは
ルーキー (新人) 外交だ、経験が分かってない、中国を怒らせたら危ないぞ—米国主要メディアがトランプ次期大統領を一言に非難した...

下流化ニッポンの処方箋

「40代下流」をこれ以上増やしてはいけない理由
埼玉県内の大手スーパーでレジ打ちの仕事をしている陽子さん (43歳・仮名) は、低い賃金ながら一生懸命働いています。この数年、県最...